

農・商・福の地域内連携で実現する多様なクラフトビールの開発・製造と販路開拓

南阿蘇村商工会 氏名 福田 康秀

事業者名：みなみ阿蘇ビール(株)

業種：製造小売業

担当者コメント

販路開拓など伴走型支援を実施でき、持続化補助金の採択、経営革新計画の承認も受けることができた。今後も伴走型支援を行ってきたい。



主力商品「阿蘇ブロンドエール」

支援テーマ

支援テーマ	
	創業
<input type="radio"/>	経営革新
	地域資源活用・新連携
	農商工連携・6次産業
<input type="radio"/>	販路拡大・販路支援
	海外展開・海外販路開拓
	事業再生・再チャレンジ
	事業承継
	ものづくり
	雇用・労務関係
	資金繰り
<input type="radio"/>	持続化補助金
	その他

支援前の課題

【企業概要】

令和3年6月に南阿蘇村内において、クラフトビール販売会社を設立。白川水源の自然湧水と同村産の大麦・米を使用しOEM生産したビール「阿蘇ブロンドエール」を主力商品として事業展開している。

(創業) 令和3年6月

(代表者の年齢) 45歳

(現状分析)・強み→高品質なビールを造れる技術力を保有している。

・弱み→OEM生産の為、製造原価が割高である。

・機会→国内のクラフトビールブーム

・売れ筋商品・顧客ニーズの把握→高価ではあるが、多種多様な香味が特徴のクラフトビール市場が急激に成長している。

・競合する店舗等→阿蘇地区内において競合する事業所なし。

【支援課題・支援計画】

(支援課題) 商談会への出店など県内外における販路開拓活動

(短期計画) 小規模なミニブルワリーを開設し、地域内農業者、及び福祉サービス社会と連携して商品開発を行う。

(中長期計画) 自社工場での生産体制整備を図る。

支援内容

フェーズ1 商品認知度向上支援

南阿蘇村で生産された1次産品を主原料とした加工品または、村内で製造・加工された南阿蘇にゆかりのある加工品の認定ブランド「みなみあそくらしのめぐみ」に認定し、県内外に村の特産物として認知度向上を行った。

「みなみあそくらしのめぐみ」に認定されるとHPやSNSでの紹介、物産展での案内、キャンペーンの実施等の特典を受けることができる。

フェーズ2 物産展出店支援

伴走型補助金を活用し、大丸福岡天神店で「みなみあそくらしのめぐみフェア」に令和4年1月19日～25日の7日間出展した。百貨店での出展に関する事前準備等の支援を行った。また、当日は福岡大丸バイヤー、食品担当者よりブースのレイアウトや販売方法の提案を行い商品のPR支援を行った。

フェーズ3 経営革新計画策定支援

現在、OEMによる生産を行っているが、自社工場（醸造所）建設に向けての経営革新計画に取り組んでいる。

取組む事業の新規性をどのように表現するか、また、現実可能性の高い数値計画を作成する上での計画書作成の支援を行った。

（進捗・成果）

物産展出展支援では2事業者がバイヤーとのつながりが出来、今後につながるような支援ができた。

また、現在持続化補助金にも取り組んでおり、EC限定フレッシュホップビールの開発と商品化や

「ホップ株主制度」によるEC顧客の囲い込みによる取組みをおこなっている。



事業者様の声

当社は阿蘇白川水源、池山水源の自然湧水を使用したクラフトビールの製造・販売を行っております。ビールの原料となる「大麦」・「ホップ」・「米」などは同村内の農業者様、及び福祉事業者様に生産して貰っており、農・商・福の連携によって地域一体となったものづくりに取り組んでいます。

令和3年9月から商品を販売開始しましたが、発売開始当初は販路も狭く、安定した売り上げの獲得に苦戦した部分もありましたが、商工会様からご紹介頂いた博多大丸での出店等で徐々に知名度も上がり、現在では沢山の皆様から好評を得ることができています。

事業化が進むにつれ、中・長期的な視点での事業計画策定の必要性に迫られたことから、商工会様支援のもとで「経営革新計画」にチャレンジ、認定を受けることができました。中・長期的なビジョンが明確になった事で、当社が抱える課題と解決策が明確になりました。課題解決と計画達成に向け、現在は持続化補助金を活用して、商品の安定供給に向けた設備投資計画を進めています。